

## 目 次

I. 総括研究報告	
急性弛緩性麻痺、急性脳炎・脳症等の神経疾患に関する網羅的病原体検索を含めた原因及び病態の究明、治療法の確立に資する臨床疫学研究	1
多屋馨子	
II. 分担研究報告	
1. AFP病原体サーベイランス体制の整備について	7
清水博之	
2. 急性脳炎（脳症を含む）症例からの病原体網羅的検索に関する研究	10
藤本嗣人、花岡 希、小長谷昌未、新橋玲子、森野紗衣子、新井 智	
3. フラビウイルスに起因する脳炎の調査	13
林 昌宏、前木孝洋	
4. 地衛研における検査・病原体解析に関する研究	16
四宮博人	
5. 初代培養神経細胞を用いた抗神経抗体の新規検出法の開発と自己免疫性脳炎の診断アルゴリズムの検討	19
原 誠	
6. コロナ禍における鼻腔検体採取方法に関する研究	21
八代将登	
7. 「福島県における感染症関連神経疾患の発生動向調査とその病原体検索」に関する研究	24
細矢光亮	
8. 急性弛緩性脊髄炎の長期予後に関する研究	26
吉良龍太郎	
9. 2015年および2018年に発生した急性弛緩性脊髄炎の神経画像の比較研究	29
奥村彰久、森 壱	
10. 2018年の急性弛緩性麻痺患者の神経生理学的特徴に関する研究	34
鳥巢浩幸、安元佐和	
11. 急性弛緩性麻痺、急性脳炎・脳症の原因究明に関する研究	37
森 壱	
12. 急性脳炎（脳症）・急性弛緩性麻痺の発生動向と病原体診断のための検体の確保・搬送に関する研究	39
新橋玲子、新井 智、森野紗衣子、砂川富正、多屋馨子	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	44